

平成30年度市ヶ谷台慰霊祭について

慰霊祭実行委員会

偕行社は、11月6日（火）市ヶ谷台慰霊祭を市ヶ谷駐屯地メモリアルゾーンにおいて執り行った。あいにくの雨模様ではあったが、陸自中央業務支援隊のご支援及び関係者による周到な会場設営など、万全の態勢で祭典に臨んだ。

阿南大将、杉山元帥及び吉本大将の碑、全陸軍航空部隊碑及び晴気少佐慰霊碑には、お花、日本酒とお水、そして焼香用の香炉が用意された。また自衛隊殉職者慰霊碑前には白菊の献花が準備され、雨に濡れ常緑樹に囲まれた会場は、静謐な雰囲気醸し出していた。

祭典は、15時20分に開始、国歌斉唱、黙とうに続き、森理事長による祭文（41頁掲載）奏上がなされた。祭電披露につづき、尾崎芳江氏の指揮により偕行合唱団が「ふるさと」「この国は」「海行ゆかば」の3曲を奉唱した。

次いで祭主以下ご遺族、国会議員、防衛省官房長、陸上幕僚長はじめ多くの将星、友好団体関係者、偕行社会員の順で127名の参拝者が各慰霊碑へ巡拝焼香と、自衛隊殉職隊員慰霊碑への献花が整齊かつ厳粛に行われ、滞りなく閉会した。

防衛省・陸自関係者のご支援、特に雨の中、祭典進行に協力していただいた隊員に感謝の意を表したい。

